

## 2012年度 中央大学特定課題研究費－研究報告書－

所属	理工学部	身分	教授
氏名	早坂七緒		
NAME	Hayasaka Nanao		

## 1. 研究課題

(和文) ローベルト・ムージルの文学とモデルネ——ジョイス、プルースト等との共通性と差異

(英文) Robert Musils Werke und die Moderne – Gemeinsamkeiten und Differenzen mit Joyce und Proust.

## 2. 研究期間

2年間

## 3. 研究の概要（背景・目的・研究計画・内容および成果 和文600字程度、英文50word程度）

(和文) 三人の作家は20世紀前半に英、仏、独語による重要な長編小説を残した。モデルネを語るのに避けては通れない諸作品である。それぞれ比較検討してムージルの特徴をより大きい枠組みから捉えることを目的とする。〔文献蒐集〕ジョイス、プルーストの独訳版入手。プルーストについてはRechel-Mertens訳が、原文を区切った意訳が多いため、改めてW. Benjamin訳入手した。〔現地調査〕2013年9月にダブリン（ジョイス関係、アイルランド）、イリエーコンブレー、シャルトル、パリ（プルースト関係、フランス）、ウィーン（ムージル関係）を訪問、各種関連施設等を見学した。〔内容〕三つの作品ともに第一次世界大戦後に、大戦勃発以前の市民社会を描いている（『ユリシーズ』は1904年6月16日、『特性のない男』は1913年8月、『失われた時を求めて』は1898年前後）。二重、三重に虐げられてきたアイルランドのユダヤ人（ジョイス）にとって現実は悪夢であり、主人公ブルームはアリストテレスの可能態で歴史を考えようとする。これはムージルの可能性感覚につながるものである。プルーストは若干違っており、主体が夢想を現実化する度に、夢想のもつ魅力が失われる様を追求した。しかし三者ともに戦前の世界のもっていた魅力と問題点とを蘇らせ、戦前の時点から回避ないし解決の方向を探ろうとした意志が認められる。〔成果〕ムージルとプルーストとは接点がなかったにもかかわらず、作品中の認識や着眼点に共通性が見られる。これは当時のヨーロッパにおけるサロン、カフェ、新聞のフェュトーン等による伝播のためと考えられる。個々の文節についての考証を中心に学会で発表した。

(英文) 1. Beschaffung der deutschen Übersetzungen von Joyce und Proust (Rechel-Mertens, W. Benjamin). 2. Besuch der Städte und Orte (Illiers – Combray, Chartre, Dublin u.a.). 3. Gemeinsam an drei Dichtern ist die Gesinnung, das Bürgerleben der Vorkriegszeit (1904, 1913 oder ca. 1898) zu beschreiben, die ehemalige Welt nostalgisch wieder zu geben aber auch durch eine Art Möglichkeitssinn das zu forschen, ob die Menschheit nicht einen anderen Weg nehmen könnte. 4. Als Nebenergebnis ein Vortrag „Luftinfektion? ein Musilforscher liest Proust“: die gemeinsame Denkweise oder Einsicht folgte dank damaligen Salons, Cafés oder Feuilletons.

4. おもな発表論文等（予定を含む）
【学術論文】（著者名、論文題目、誌名、査読の有無、巻号、頁、発行年月）
早坂七緒：Luftinfektion? ——ムージル研究者がプルーストを読んでみる。日本オーストリア文学会。札幌。2013 年 9 月。
【図書】（著者名、出版社名、書名、刊行年）
【その他】（知的財産権、ニュースリリース等）